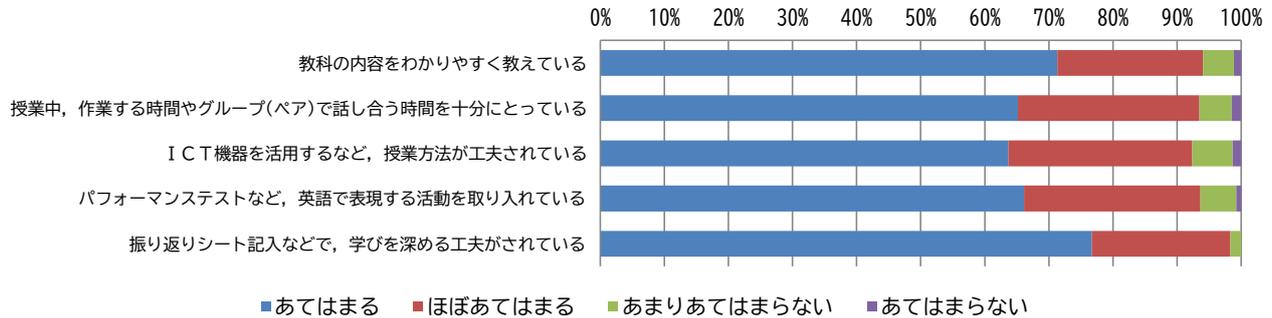


令和7年度 1 学期 生徒授業評価アンケート

教科名	英語	重点目標	ペアワークやグループ活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとにパフォーマンステストを実施し、学習内容を英語でアウトプットできるようにする。また、振り返りシート記入で文法事項の定着を図るとともに、主体的に学習に向かう姿勢を培う。
-----	----	------	--

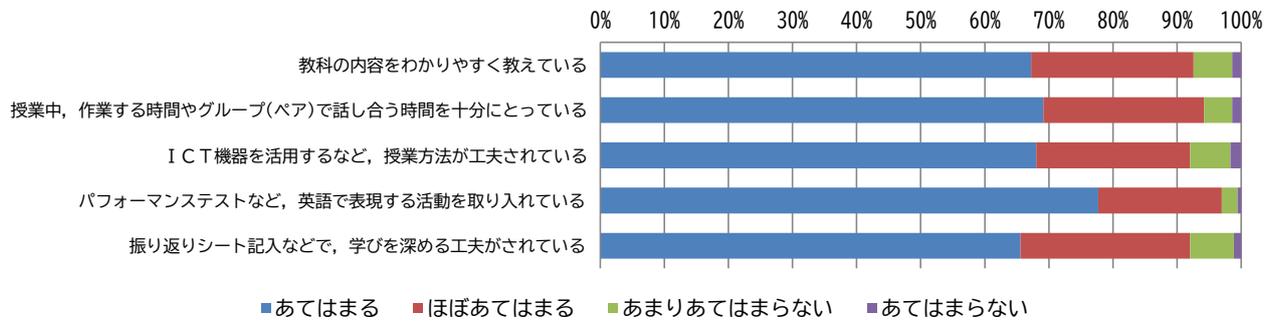
学習指導に関する現状と課題（1 学期・生徒による授業評価アンケートより）

1 年 英語



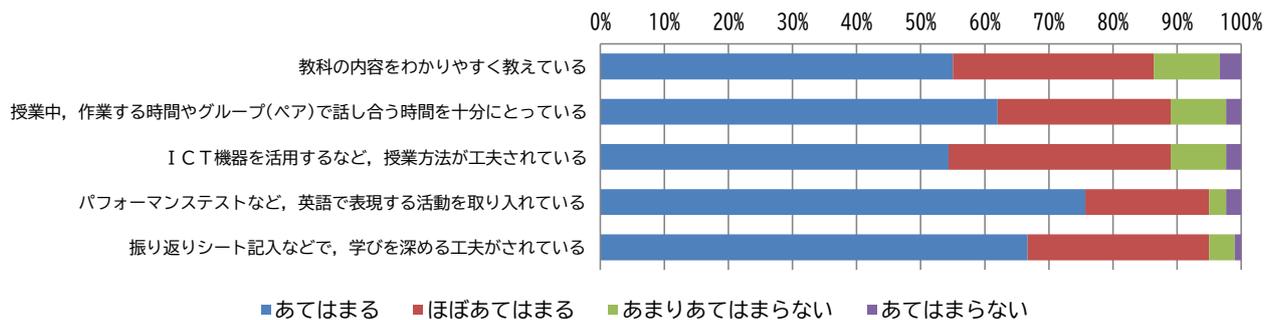
分析 全ての項目において、肯定的な意見が90%を超えている。特に振り返りに対する評価が高く、継続の価値が十分にあると感じた。2学期以降は評価基準を明確にし、より主体性をもって取り組めるようにしていきたい。一方、パフォーマンステストは1学期に1回しか実施できず、その影響で該当項目の評価が十分ではなかったと考えられる。2学期以降は学期に2回を目標にして実施し、より精度の高い評価と学習効果の向上を図っていく。さらに、2学期以降のパフォーマンステストではスライド等を用いてスピーチをすることで、生徒自身がICTを活用する場面を増やしていきたい。また、少人数で関わっている教員が5人と多く、各項目において高評価をいただいているが、まだ連携が十分ではないため、連携をより強め、質の高い授業を全員が行えるようにしていきたい。

2 年 英語



分析 全ての項目で肯定的な意見が90%を超えている。5つの観点の中でも、「パフォーマンステスト」の評価が高い理由としては、毎レッスンごとにパフォーマンステストを実施しているため、生徒が目的意識をもち取り組む意識が高いのと同時に、パフォーマンステストを実施しているという事実があるため、評価する上で分かりやすいのだと考えられる。教員として、重点的に上げていきたい箇所は「教科の内容をわかりやすく教えている」である。そのため、今後も生徒目線に立った授業内容を作り、少人数に関わっている教員全員が努力して指導できるよう密に連携していく。課題としては、「振り返りシート」の改善である。どうしたら生徒にとって一番意味のある「ふりかえり」になるのか考えて改善していきたい。

3 年 英語



分析 全ての項目において、肯定的な意見が85%を超えている。ペア活動は、毎時間の帯活動や音読練習、グループ学習は、グループでの長文読解演習や発表活動も行っているため、評価が高いと考えられる。パフォーマンステストと振り返りシートの取り組みに関しては90%を超えているが、これは単元のまとめとして、毎単元の終わりに必ず実施し評価しているため、生徒が目的意識をもって意欲的に取り組んでいるためと考えられる。「教科の内容を分かりやすく教えている」の項目では80%を超えているが、少人数で関わっている教員と情報共有をし連携を図りながら、「当てはまる」の生徒の割合をさらに増やしていきたい。